



## 第1回内部委員会及び有識者会議での主な御意見

- ・目指す姿について
- ・KGI,KPIの設定について
- ・基本的な方針を実現するための方向性について



## 第1回内部委員会及び有識者会議での主な御意見

- 目指す姿について
- KGI, KPIの設定について
- 基本的な方針を実現するための方向性について

# 第1章 総論 2 目指す姿



## 内部委員会時の提案

- 児童生徒  
クラウドツールを基盤としたICTの日常的な活用を通して、学びの質の向上を図り学習の基盤となる情報活用能力を身に付け、生涯学習者としての基礎を築く児童生徒
- 教員  
自己研鑽等を通してICT指導力を意欲的に向上させ、児童生徒1人1人の学びを深めるための伴走者として、自己の授業を改善しようとする教員
- 学校  
学習指導や校務にICTを積極的に取り入れることで、授業準備や事務作業の効率化を図り、子どもと向き合う時間が確保できる学校

## 有識者会議時の提案

- 児童生徒  
**全ての児童生徒が**、クラウドツールを基盤としたICTの日常的な活用を通して、学びの質の向上を図り、学習の基盤となる情報活用能力を身に付け、生涯学習者としての基礎を築こうとしている。
- 教員  
**全ての教員が**、自己研鑽等をとおして、意欲的にICT活用指導力を向上させ、児童生徒1人1人の学びを深めるための伴走者として、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善に取り組んでいる。
- 学校  
**全ての学校が**、業務の負担軽減を図るため、校務や学習指導にクラウドツールを基盤としたICTを積極的に活用していく組織的な取り組みや体制づくりを行い、教員の児童生徒と向き合う時間を確保している。

## 御意見

- ・アクセスして得た情報だけではなく、自分で発信していく視点もあった方がよいのではないか。
- ・教員もICTとクラウドツールを基盤とした働き方が必要
- ・「向き合う」→学校なのか、教員なのか
- ・「学校」に入っている内容が「教員」の姿に入っているのではないか。
- ・ICTをうまく使っていくとあるが、利便性だけでなく、重要性も取り入れるべき。
- ・児童生徒の「発信する能力」の定義も必要ではないか。
- ・三本柱について、「家庭・保護者」を入れて四本の柱はどうか。

- ・**2040年代を見据えて**、今の子供たちが、将来Society5.0時代になったときに、**主体的に活躍できるような場面**を想定することが必要
- ・ICTを自分の生活や学習に**どう生かして**、**より良い人生**、**学びを続けていく**かっていう、そういう視点が大事
- ・世界が一目置くような町なんだということを目指すくらいのもものがほしい。**柏市はICT教育のパイオニア**、**その強みを膨まらせてほしい。**
- ・大きな将来どういう人を育てていきたいか、それを基に教員像、学校像を明記した方がよいのではないか。



## 第1回内部委員会及び有識者会議での主な御意見

- ・目指す姿について
- ・KGI,KPIの設定について
- ・基本的な方針を実現するための方向性について



### 内部委員会で提案したKPI, KGI

#### 【KGI】

日常的にICT活用を活用して学びの質を高めている児童生徒の割合  
→目標値 100%

#### 【KPI】

PC・タブレット等のICT機器を使うのは勉強に役立つと思うと肯定的に回答する児童生徒の割合（全国学力・学習状況調査 児童生徒質問紙）

前年度までに受けた授業で、コンピュータなどのICT機器を週3回以上使用したと回答する児童生徒の割合（全国学力・学習状況調査 児童生徒質問紙）

調べる場面で端末を週3回以上活用する学校  
（全国学力・学習状況調査 学校質問紙）

発表・表現する場面で端末を週3回以上活用する学校  
（全国学力・学習状況調査 学校質問紙）

教職員とやりとりする場面で端末を週3回以上活用する学校  
（全国学力・学習状況調査 学校質問紙）

児童生徒同士でやりとりする場面で端末を週3回以上活用する学校  
（全国学力・学習状況調査 学校質問紙）

理解度等に合わせて課題に取り組む場面で端末を週3回以上活用する学校  
（全国学力・学習状況調査 学校質問紙）

### 御意見

・「ICTを活用して学びの質を高める」もう少し具体的な姿が見えてくるような文言に

- ・計画と効果測定が一体化しているかが大事。
- ・全国学調は、毎年調査項目が変わるので、柏市で行っている調査で指標をとっていくことも手ではないか。
- ・学びの質を高めるためのツールがICTだと思うので、「ICTをこれだけ使いました」という項目がKPIに見受けられるのはどうなのか。
- ・ICT活用によっての変容、学校の成績にも波及していく内容が大事ではないか。使うことが目的ではない。誤解のない表現が必要ではないか。

### 修正のポイント・方向性

- ・KGIの「学びの質を高めている」を軸として、その具体をKPIとして設定する。
- ・柏市独自調査である「生活・学習意識調査」で調査を行う。



### 有識者会議で提案したKPI, KGI

#### 【KGI】

日常的にICT活用を活用して学びの質を高めている児童生徒の割合

→目標値 100%

#### 【KPI】

「タブレット端末を使うことは勉強に役立つと思いますか」に対して肯定的に回答する児童生徒の割合（柏市生活・学習意識調査）

「タブレット端末を活用して、気になったことを簡単に調べることができますか」に対して肯定的に回答する児童生徒の割合（柏市生活・学習意識調査）

「タブレット端末を活用して、調べたことを比べたり、整理したりすることができますか」に対して肯定的に回答する児童生徒の割合（柏市生活・学習意識調査）

「タブレット端末を活用して、調べたことをわかりやすく、工夫してまとめることができますか」に対して肯定的に回答する児童生徒の割合（柏市生活・学習意識調査）

「タブレット端末を活用して、自分の考えを相手にわかりやすく伝えることができますか」に対して肯定的に回答する児童生徒の割合（柏市生活・学習意識調査）

「タブレット端末を活用して、自分に合った方法で学びを進めることはできますか」に対して肯定的に回答する児童生徒の割合（柏市生活・学習意識調査）

### 御意見

・KGIの表記の仕方について、目指す姿と関連性を持たせた方がよい。  
学びの質が教科学習ベースに捉えられがち

- ・KPIについてある程度、目標数値みたいなものを設定して、見ていく必要があるのではないか。
- ・目標値を100%に設定していくのであれば、達成の度合いとしては8割程度という形が多いかと思う。
- ・学年によって、内容が違うので、その学年ごとという視点も必要ではないか。
- ・前回と比べて何%増加したとか、そういう、測り方だと定量的ではないか。
- ・ICTを単純に消費するのではなくって、自分の学びに上手く活用していけるような児童・生徒みたいなことがうまく盛り込めれば良いのではないか。

### 修正のポイント・方向性

- ・KGIを「目指す姿」とリンクさせる
- ・令和11年度までの目標値の設定
- ・学びの質を具体化



#### 内部委員会で提案したKPI, KGI

##### 【KGI】

子供の学びについて ICT を活用して改善することができる教員の割合

→目標値 100%

##### 【KPI】

教員が ICT 機器を活用した授業の割合を、「週2～3回」または「毎日」と回答する教員の割合（教職員向け ICT 端末利活用調査）

ICT 活用に係る研修を受講又は実施した割合（）

1人1台端末の家庭への持ち帰り状況（教職員向け ICT 端末利活用調査）

指導者用デジタル教科書の活用状況（教職員向け ICT 端末利活用調査）

授業中に ICT を活用して指導する能力に関する調査のうち「指導できる」または「やや指導できる」と回答する教員の割合（文科省 学校における教育の情報化等に関する調査）

児童の ICT 活用を指導する能力に関する調査のうち「指導できる」または「やや指導できる」と回答する教員の割合（文科省 学校における教育の情報化等に関する調査）

#### 御意見

- ・「子どもの学びについて」→主語は子ども
- ・授業, 指導, 学習, 学び...いろいろな言葉が使われているが, 意味をもって言葉を使うことが大事。言葉を整理した方がよい。

- ・授業改善検討委員など, 教員もアウトプットしていく場が大切。
- ・子どもの学び改善, 授業改善→先生たちの研修を減らしてはいけない。

#### 修正のポイント・方向性

- ・言葉の整理
- ・教員のアウトプットの場の創出
- ・研修機会の提供



### 有識者会議で提案したKPI, KGI

### 御意見

#### 【KGI】

子供の学びについて ICT を活用して改善することができる教員の割合

→目標値 100%

#### 【KPI】

教員がICT機器を活用した授業の割合を、「週2～3回」または「毎日」と回答する教員の割合（教職員向けICT端末利活用調査）

ICT活用に係る研修を受講又は実施した教員の割合（文科省 学校における教育の情報化等に関する調査）

児童生徒の1人1台端末の家庭への持ち帰り状況（教職員向けICT端末利活用調査）

指導者用デジタル教科書の活用状況（教職員向けICT端末利活用調査）

授業中にICTを活用して指導する能力に関する調査のうち「指導できる」または「やや指導できる」と回答する教員の割合（文科省 学校における教育の情報化等に関する調査）

児童のICT活用を指導する能力に関する調査のうち「指導できる」または「やや指導できる」と回答する教員の割合（文科省 学校における教育の情報化等に関する調査）

・KPIについて目標数値を設ける。教員なので100%を目標でよいのではないか。

#### 修正のポイント・方向性

- ・KGIを目指す姿とリンクさせる
- ・KPIで数値目標を入れる



## 内部委員会及び有識者会議で提案したKPI, KGI

### 【KGI】

校務を分析・整理し、ICT活用も含めた教員の働き方改革を推進している学校の割合  
→目標値100% (小・中 各10校程度の抽出調査)

働き方改革をするために組織力や体制を整えていきましょうという立て付けなのか。求めたい姿が何なのか。校務における評価は何を示すのか。

### 【KPI】

・校務の見直しと分析・整理を行っている。

(学校における働き方改革推進プラン)

・学習指導に係る業務(授業、授業準備、課題作成等)へのICTの積極的な活用を推進する。

(学校における働き方改革推進プラン)

・校務の情報化の推進状況

(学校における働き方改革推進プラン)

・学校運営に関する状況

(全国学力・学習状況調査(小・中))

・ICTを活用した校務・事務負担軽減のための取組

(学校における働き方改革推進プラン)

教職員の力量を高める。学校の組織力を高める評価指標がKPIになっていく。そんな立て付けになっていく。何を評価するのか。

### 修正のポイント・方向性

- ・抽出ではなく、全校を対象に
- ・具体的に評価できるように、どのような指標を設定するか検討



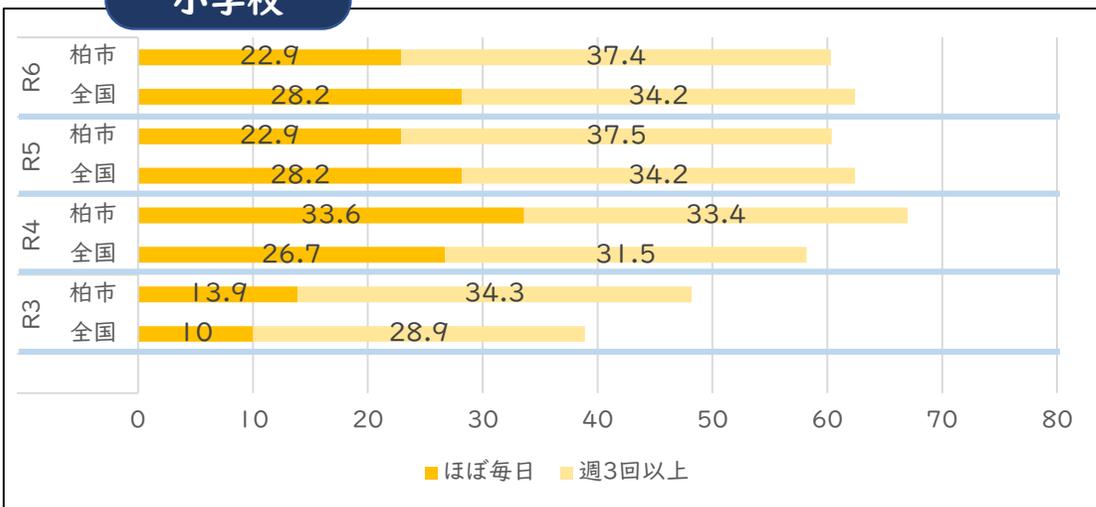
## 第1回内部委員会及び有識者会議での主な御意見

- ・目指す姿について
- ・KGI,KPIの設定について
- ・基本的な方針を実現するための方向性について

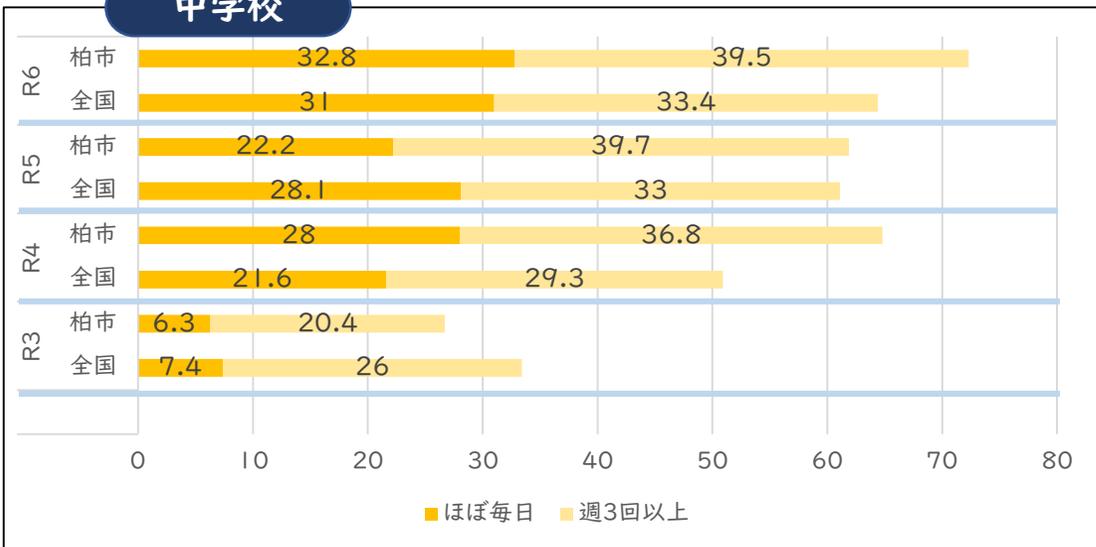


### 授業でのICT端末の活用頻度

#### 小学校



#### 中学校



### 内部委員御意見

- ・ICT使用率が下がってきているので分析が必要
- ・令和3年度～4年度はコロナ禍だったので、オンライン授業が多かった時期である。そのあたりも検証すべき

### 有識者御意見

- ・令和5年度の調査では下がるという理由について**個々の学校や学級を見ると、大きな差が出ているはず**。そのあたりを、分析する必要があるのではないかと。
- ・表ではなくグラフの方が見やすい。
- ・校長先生の認識による違いがある可能性はある。コロナ禍が明けたことでパソコンよりも体験活動を重視した結果、減少したということも考えられる。

### 令和6年度も含めた現状

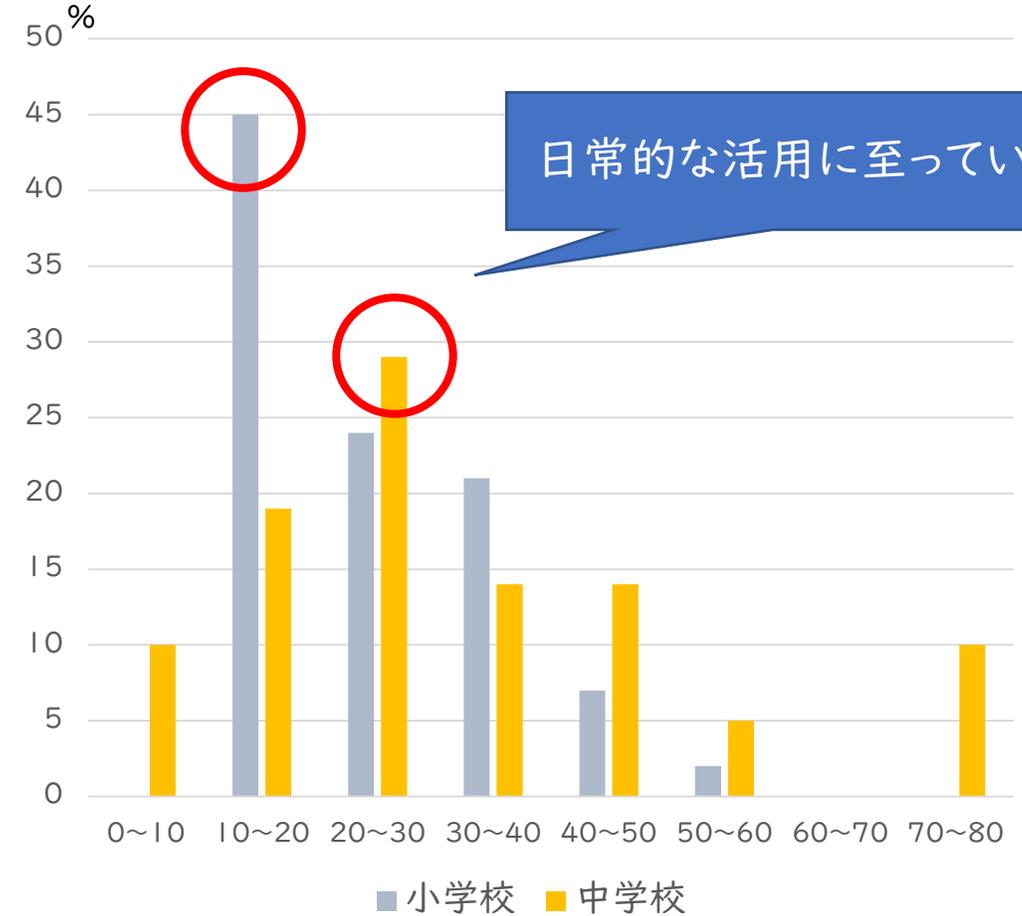
- ・小中学校、共に令和4年度から令和5年度にかけては減少
- ・小学校は令和5年度から令和6年度にかけては横ばい
- ・中学校は令和5年度から令和6年度にかけては上昇し過去最高



#### 授業でのICT端末の活用頻度（柏市の実態）

「ほぼ毎日」活用したと回答した割合(%)	小学校		中学校	
	校数	階級割合	校数	階級割合
以上 未満				
0.0 ~ 10.0	0	<b>0%</b>	2	<b>10%</b>
10.0 ~ 20.0	19	<b>45%</b>	4	<b>19%</b>
20.0 ~ 30.0	10	<b>24%</b>	6	<b>29%</b>
30.0 ~ 40.0	9	<b>21%</b>	3	<b>14%</b>
40.0 ~ 50.0	3	<b>7%</b>	3	<b>14%</b>
50.0 ~ 60.0	1	<b>2%</b>	1	<b>5%</b>
60.0 ~ 70.0	0	<b>0%</b>	0	<b>0%</b>
70.0 ~ 80.0	0	<b>0%</b>	2	<b>10%</b>

「ほぼ毎日」活用したと回答した代表値	小学校	中学校
平均値	<b>24.2%</b>	<b>32.1%</b>
中央値	<b>20.6%</b>	<b>28.7%</b>
最大値	<b>57.4%</b>	<b>71.0%</b>
最小値	<b>10.5%</b>	<b>8.8%</b>
範囲(最大値-最小値)	<b>46.9%</b>	<b>62.2%</b>



令和5年度 柏市生活・学習意識調査結果（児童生徒の回答結果から）

学校間で活用状況に大きな差がある



#### 内部委員御意見

- ・総論・各論の紐づけがわかるような形にしてほしい。
- ・デジタルデバйд対策。自宅での学習, Wi-Fi環境→家庭に目を向けるなら環境整備にも気にしてほしい。
- ・「Google」個別のサービスを書いていいのか。
- ・生成AIについては書かざるを得ないが, 5年間の計画に通用するのか。
- ・デジタル・シティズンシップは児童生徒の教育の目線だと思いが, 児童生徒は勝手に身についていく。これについて正しく指導するという, 教員版としての目線もあるとよい。
- ・「健康」留意→使用時間, 短くすればいいという論調は怖い。制限するだけが正しいわけではない。

#### 修正のポイント・方向性

- ・取り組みを普及させるために足かせとなっている課題を洗い出し, ワンランク上にいくための取り組みが必要
- ・学校間, 教員間差を生み出さないようにするために

#### 有識者御意見

- ・これからの時代を生きるデジタル人材ではなく, これからの時代に活躍するなどの表現はどうか。
- ・特別支援教育について支援をするためのICT活用だけでなく, 優れた能力を発揮できるようにするためのというような書き方も必要ではないか。
- ・中学校プログラミング教育について, 技術の授業が中心である。**技術科を教える教員は専門外も多いため, 学校間格差はそのようなことでも影響を及ぼしている可能性があるのではないか。**
- ・高校生の実態としてICTスキルの差が中学校段階での活用差に影響しているように感じる。**小中学校段階で学校間格差を生まないような取り組みが必要となる。**
- ・高校で情報専門の教員が少なく, 教科の授業を専門外の先生が免許をとって授業を教えている状況もある。国や県とも連携しそういった先生への研修等の支援も必要であると思う。
- ・柏市では様々な取り組みが行われているが, **その取り組みをより普及させていくため, 普及の足かせとなっている課題を洗い出し, ワンランク上にいくためのもうひと工夫, 具体的な取り組みが必要であると思う。**



### 内部委員御意見

- ・課題としては、**使うことが目的という部分に比重がいつている**。教員がどのくらい必要性を理解しているのか。
- ・**ICTの必要性が腹落ちしていない先生をどうしていくか**。どう伝えていったらいいのか。
- ・研修は受けてほしい人が来てくれないということもある。ICT支援員のミニ研修など、いいなと思うものが見えてくるとよい。
- ・先生たちの研修の確保について、研修を受けるために先生の負担が上がりすぎないように。
- ・ICT支援員→困りごとがあったら解決ではなく、授業改善のコンサル的な支援員さんの活動もいいのではないかな？

### 修正のポイント・方向性

- ・教職員に対してICTの必要性をどのようにして見出していくか。
- ・研修機会の提供
- ・授業コンサル的なICT支援員の活動

### 有識者御意見

- ・調査結果における課題の整理（令和4年度から令和5年度にかけて減少傾向にあったこと等）が必要であり、記載があった方がよい。それを基にどのような施策が必要かという一体感を持たせられるようにしていくともう少し見やすくなる。
- ・教職員研修の参加が少ない。研修の内容としてはよいと思うのだが、**教育委員会が大事だと思って進めていることと現場の先生たちの意識に差があるように感じる**。
- ・研修内容について参加してみたいくなるような魅力ある表現が必要かもしれない。
- ・方針について例えばこの図1についての中でも、今後の取り組みの方向性を明確にした方がよいのではないかな。例えばここを深めていきたいとか。ステップ0からステップ3まであることをさらに学校ごとに浸透させていきたいとか、さらに先の5年間でどういうふうな取り組みをしていくのかという書き方をすることが一つ考えられる。



#### 内部委員御意見

・働き方改革をするために組織力や体制を整えていきたいと思いますという立て付けなのか。教職員の力量を高める。学校の組織力を高める評価指標がKPIになっていく。そんな立て付けになっていく。何を評価するのか。求めたい姿が何なのか。校務における評価は何を示すのか。

→記載の仕方は再整理する必要がある。

#### 修正のポイント・方向性

・今までの取り組みを継続しつつ、国の動向を注視しながら令和11年度までに目指す取り組みを盛り込んでいく

#### 有識者御意見

- ・令和11年度まで、これが進んでいくわけだから、今駄目だから盛り込まないということではなくて、目指す形が必要なのではないか。
- ・今までやってきていいところをもっと膨らませるようなことが必要ではないか。
- ・校務支援システムが学校でしか使えないというところもあるので、子育て世代の先生等が、結局、夜間や土日に、仕事をしたりすることが多いのが事実。家から校務支援システムを見ることができれば、その辺りがうまくできるようになれば、働きやすさにも繋がったり、働きがいにも繋がったりするのかなと思う。
- ・文部科学省から出ている、**ゼロトラストセキュリティ対策を実現して、ロケーションフリー化を目指すとか、今のトレンドのことも、内容に盛り込むとよいのではないか。**